羅針盤

介護福祉士 らしんばん

No.72（No.30）
平成 29 年 10 月発行
一般社団法人岡山県介護福祉士会
〒 700-0807
岡山市北区南方２丁目 13-1
岡山県総合福祉・ボランティア・
NPO 会館「きらめきプラザ」７階
TEL：086-222-3125
URL：http://www.okayama-kaigo.jp
印刷編集協力：友野印刷

（御歳105歳です）

えがお

高瀬ヒルサイドテラス４階で、今月も開催します　～カフェ・ヒルサイドテラス～

月１回のお楽しみ。（施設長・管理栄養士の方が主催で行います）
利用者様も楽しみにしている、屋上のテラスで外の景色を見ながら憩いのひと時です。
利用者様の笑顔が私たちの元気の源です。

高瀬ヒルサイドテラス　森谷　謙作

公益社団法人
日本介護福祉士会

第24回全国大会　第15回日本介護学会

テーマ「介護福祉士のより高い専門性を目指して」～自律・自立を促進する介護とは～

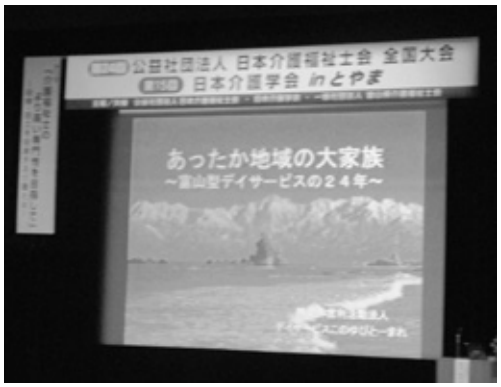
日　時　平成29年7月15日（土）・16日（日）

平成29年７月15日（土）・16日（日）に、公益社団法人日本介護福祉士会　第24回全国大会　第15回日本介護学会　テーマ「介護福祉士のより高い専門性を目指して」～自律・自立を促進する介護とは～が富山県において行われました。

日本介護福祉士会石本会長は、挨拶の中で、「介護人材の中核的役割を担う介護職チームのリーダーである次世代型の介護福祉士を育成しなければならない。」と述べられました。厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉労働人材確保対策室長柴田拓己氏の基調講演のあと、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部援護局地方創生総括官　唐澤剛氏の記念講演がありました。

シンポジウムは、『共生社会の実現と介護福祉士の役割』と題して、７名のそれぞれの立場の方が意見を述べられ、介護福祉士に期待される役割の大きさが確認されました。

２日目の分科会では、第三分科会「地域包括」に参加しました。助言者の宮島渡氏（高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ　常務理事・総合施設長）の最後のまとめにおいて、「地域につなげる様々なものに取り囲まれている中で、他職種で共生社会をつくっていかなければならない。人間らしくは同じであるが、その中で専門性はほかの専門性を排除する傾向がある。しかし、介護福祉士はほかの専門性を排除しないのが専門性である。どこにでも顔をだし意見が言えるのが介護福祉士である。また、介護福祉士として明らかにすることがたくさんあり、『まとめること』『見える物にしていくこと』が大切である。」と言われました。この言葉にエールを頂いた気持ちになり、岡山県介護福祉士会の皆様と共に専門性を追求していきたいと思いました。



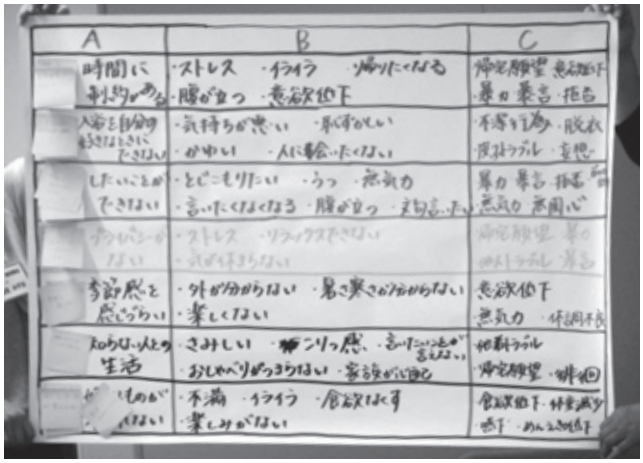
（報告：会長　安達　悦子）

一般研修会

日時：平成29年6月14日（水）
会場：岡山県生涯学習センター

●事例から学ぶ認知症ケア

講師：社会福祉法人愛誠会 特別養護老人ホーム 唐松荘　事務長　池田　和泉　氏



募集要綱の最初に、唐松荘では認知症高齢者にBPSDを発症する方が、ほとんど居られないと書かれており、安定した生活が保てている事例に、興味深く参加させていただきました。

まず基本的な認知症ケアの変遷や行動・心理症状の原因や理解などから、不適切ケアの悪循環を考え介助者自身が、BPSDを無意識のうちに作ってしまっているのでは無いか？振り返り問題提起していき認知症を抱えた方の思いや視点に立ったケアを、心掛けるだけでは無く実践していく。

あたりまえに習う事ですが…実際には業務優先になりがちで、施設ではあたりまえの施設症などというあまりよくないイメージの事まで、以前から指摘されています。

何が違うのか、より生活に基づいて、認知症を抱えた方への配慮やニーズに、講師の施設では、スピーディーに企画、対応するアクティビティーケアを実施しておられます。

その上で、やはり共通のビジョンを持ったハイパフォーマンスチームが不可欠な事も一日学ぶなかで痛感しました。

男女差、年齢差、価値観の違う介護士がいるからこそ多種多様な認知症ケアに対して、様々な気づきが得られ個人もチームも向上していけると学べました。　　（美作地区：広報・神田）

初任者研修

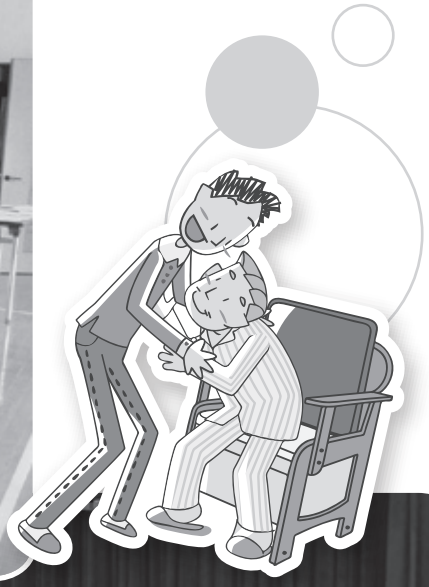
●新見地区（テーマ：福祉用具の意義と活用）

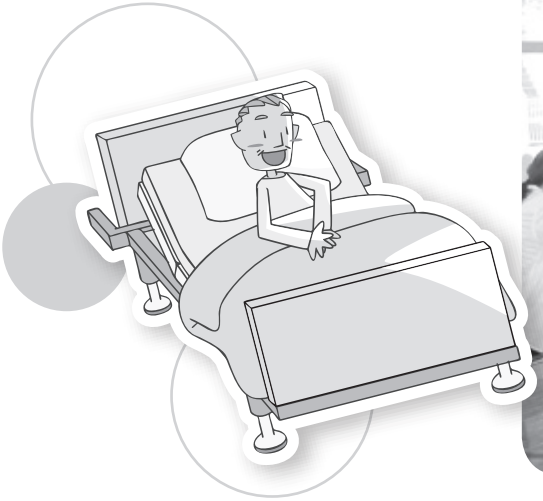
日　時：平成29年６月17日（土）
会　場：特別養護老人ホームおおさ苑　地域交流ホーム
講　師：アイ・ソネックス株式会社　藤井　直人　氏
参加者：12名

今回の研修会ではまず、「ポジショニング」に気付く話として、普段耳慣れない言葉『ポスチャリング』と『シーティング』、『スタンディング』へと、分かりやすい内容から始まりました。

椅子に座っている人＝シーティングの状態は足や腕の位置や目線、また首の角度によって、呼吸の状態から食事での咀嚼力まで、まったく違ってくること。またずっと座っている人や認知症の人の姿勢から何が分かるのか。拘縮の原因にもなるであろう精神面での姿勢の状態を紐解き、安定した姿勢やポジショニングとはどのような状態かを、福祉用具を活用しながら体感することができました。

１時間半という短い時間でしたが、大変中身の濃い研修会となりました。　（新見地区：広報・磯田）





●美作地区（テーマ：介護福祉士のための医学知識～介護現場における事故防止のポイントと対応～）

日　時：平成29年７月15日（土）
会　場：津山勤労者総合福祉センター
講　師：一般財団法人共愛会　芳野病院
看護介護部長　永禮　博子　氏
参加者：26名

研修では、ヒヤリハット、脳血管疾患、心疾患、認知症、服薬やその他、普段から馴染み深く十分な理解が必要な項目について広く知識を教えていただきました。実際に起きたケースも教えていただき、より理解しやすく、再確認できたことや新しく知ることが多くあり大変勉強になりました。今回学んだことを職場のスタッフとも共有し、利用者の変化に一番に気付けるのはいつも関わっている私達介護職であることを心に留め、努めていきたいと思いました。

（美作地区：広報・河島）

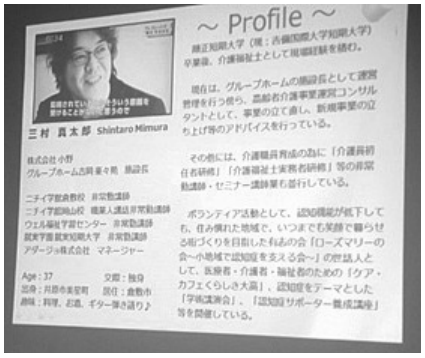
●井笠地区（テーマ：記録と報告）

日　時：平成29年８月22日（火）
場　所：特別養護老人ホーム四季の里　山吹ホール
講　師：グループホーム吉岡　楽々苑
施設長　三村　真太郎　氏

今回の研修には31名の参加がありました。研修は『記録と報告』がテーマでした。

報告については、簡潔に結果から伝える事、事実のみを報告する事、遠慮せずこまめに報告する事が大切と教えて頂きました。

記録については、観察によって得た情報（事実）を書く事、すべての人が同じように状況を理解し把握できるよう心掛ける事が大切と教えて頂きました。



限られた時間ではありましたが、自分自身の報告・記録の仕方を振り返る事が出来たとても有意義な時間となりました。

（井笠地区：広報・池田）

青年隊「“晴れる家ハレルヤ”」隊員

青年隊「晴れる家」活動報告！

子供の福祉の職場体験ツアー

社会福祉協議会さんが開催された企画が晴れる家メンバーの職場で実施されたので、晴れる家もスタッフボランティアとして参加させてもらいました。

晴れる家の今年の活動計画の一つである、『世代を超えた交流』に取り組んでいきたいと考えていたため、とても良い経験をさせてもらえることになりました。

子供達に介護の仕事を分かりやすく伝えるためにはどのような内容が良いだろうとメンバーで話し合い、食事介助と車椅子の移動介助の体験をすることになりました。

子供達は最初緊張していて顔もこわばっていましたが、メンバーの体を張った演技に次第に笑顔になり、みんなで大笑いしながら楽しく学べる時間を過ごすことが出来ました。

今後の企画に活かしていきたいと思います。　　（晴れる家代表　甲加）

他県青年隊との交流

以前から親交のある香川県介護福祉士会「チームＫ」から交流会のお誘いがあり、８月５日に晴れる家メンバー４名＋一般参加１名の計５名で参加させていただきました。香川県側の参加者は 25 名で、香川県介護福祉士会副会長と執行役員３名、介護職だけでなく PT・OT など様々な職種の方々が参加されていました。交流会では晴れる家とチームＫについて意見交換を行なったり、仕事やプライベートのことなど話題が絶えず初対面の方ともすぐに打ち解けることができました。今回の交流会を通して、また一段とチームＫとの絆を深めることができたと感じています。今後もこの良好な関係を保ち、ともに切磋琢磨しながら介護福祉士会を盛り上げていきたいと思いました。

（晴れる家　小橋）

高知県介護福祉士会青年部 NEXT さん主催の研修会に参加しました。講師はトリニティカレッジ広島医療福祉専門学校　吉岡俊昭先生（広島県青年部「絆」元代表）でした。研修会タイトルは「本気で泣いて本気で笑おう～共に生きる介護　原点　～あなたとであった人は幸せになれますか？」でした。とても分かりやすく、面白く、介護福祉士として何ができるのか、熱いメッセージを頂きました。参加者一人一人が先生の語る一言一言に耳を傾け、心を傾けていました。それくらい一人一人が介護福祉士として問われた研修会だったと思います。私ももう一度原点に返り、本気で利用者さんと向き合い、その方のためにできることを実践していこうと決心し、少しずつ行動に移しています。

（晴れる家副代表　早見）

青年隊晴れる家主催企画開催！！

介護福祉士会の魅力を会員、また会員でない方にももっと伝えていきたいと考え、6月 19 日に晴れる家主催の介護福祉士会交流パーティーを開催しました。

この企画は学生への入会説明会に晴れる家メンバーが同行した際に、学生から介護福祉士会に入って何をやったらいんだろ？会費を払ってメリットあるの？など様々な気持ちを聞きました。実際に会員の中にもそんな思いをもっている方はおられるのではないでしょうか？

そのマイナスなイメージを変えられる一つのきっかけになればと思い、この企画を計画しました。

準備段階ではどれくらいの方が参加してくれるか不安もありましたが、会長を始め、執行部の方々、各地区の役員さんにも参加協力して頂き、沢山の方が参加してくださいました。そして、新規会員の方や会員でない方も参加してくれて新たな人との繋がりもつくる事が出来ました。

写真から伝わるでしょうか？楽しそうじゃないですか？野菜や果物を片手にもっての集合写真（笑）遊んでるだけだと思われるかもしれませんが、実際は真面目な取り組みもしっかり盛り込んでいます。

なかなか直接話をする機会が少ない方達ともこんな機会だからこそ腹を割って話せたこともあったと思います。この企画をきっかけに新たに晴れる家のメンバーとして活動に参加したいと言ってくださる方もいてくれました。

少しずつですが、晴れる家の活動が活発になってきているのを実感しています。

晴れる家の企画は楽しい！！を合言葉にこれからもメンバーとわくわくする企画を考えていきますので是非機会があれば皆さん参加してみてください。

（晴れる家代表　甲加）

事務局よりお知らせ

岡山県介護福祉士会イベントのご案内

＊＊＊　皆さまのご参加お待ちしております　＊＊＊

11月11日は介護の日（いい日いい日は介護の日）

「介護フェア」

日時：平成29年11月５日（日）12：30～15：45

会場：岡山県医師会館　三木記念ホール

内容：記念講演「泣いて笑ってみおくって」講師　西川ヘレン 氏

介護福祉を学ぶ学生からのメッセージ

岡山県老人福祉施設協議会によるイベント

岡山県介護福祉士会青年隊によるロールプレイ

岡山県介護福祉士会による介護デモンストレーション他

介護福祉士、ケアマネジャーによる相談コーナー

福祉用具の展示ブース　　などなど

第３回おかやま介護グランプリ2018

日時：平成30年２月18日（日）

会場：岡山コンベンションセンター

内容：チーム（３名１チーム）で介護技術を競う

競技参加者以外の見学もOKです！
チラシが出来次第配布いたします。

高梁・総社地区初任者研修開催日変更のお知らせ

高梁･総社地区主催の初任者研修の開催日が変更となりましたのでお知らせいたします。

日　時：平成29年12月８日（金）19：00～20：30

会　場：総社市総合福祉センター

テーマ：介護福祉士の専門性と職業倫理

開催要綱につきましては、ホームページにアップいたしておりますのでご覧ください。

第12回介護実践研究発表会

日時：平成30年１月18日（木）10：00～15：00

会場：旭川荘研修センターよしい川（旭川荘厚生専門学院吉井川キャンパス内）

講演：『外国人介護労働者について（仮）』

講師　社会福祉法人旭川荘　企画広報室　室長　小幡　篤志　氏

事例発表順

発表順が決まりました!!

グループ	発表順	発表者	テーマ	所属
1	1	石原　文子 渡邊　チヱ	快適な入浴環境を目指して ～患者体験を通して機械浴ストレッチャーの冷たさの軽減方法を見出す～	医療法人創和会 しげい病院
	2	芳本　康和	ご自宅でのAOL動作維持（改善）に向けて ～ご自宅アセスメントを中心に～	株式会社創心會 創心会リハビリ倶楽部 中洲
	3	中野　容子	退院からのDS利用し、旅リハ（DSの旅行）に参加する	株式会社創心會 創心会リハビリ倶楽部 玉島
	4	岡本　恵美子	ホテルを利用した全員参加型の外食 ～入所者の楽しみアップを目指して～	医療法人敬和会 介護老人保健施設ゆうあい
2	5	佐々木　菜名	新人育成制度の導入から５年 ～見えてきた課題と、今後の取り組みに向けて～	医療法人紀典会 老人保健施設エスペランスわけ
	6	松久保　ひとみ	グループワークを活用した介護労働支援の評価 ～働きやすい職場を目指して～	有限会社医療福祉研究所ヘイセイ サービス付き高齢者向け住宅 グランドガーデン南町
	7	甲加　勇樹	青年隊晴れる家の魅力を知ってもらうために ～楽しい活動は人と人を結びつける～	一般社団法人岡山県介護福祉士会 青年隊 晴れる家
3	8	田川　将之	復職に向けて　～K様の事例～	株式会社創心會 元気デザイン倶楽部
	9	安藤　隆史 松田　まゆり	疾患別ケアの取り組み ～ピック病の方の生活の安定を図る～	社会福祉法人愛誠会 特別養護老人ホーム唐松荘
	10	柴田　育子	介護のちからと支援のちからの融合を目指して ～障害者支援施設の高齢化の現状と今後の課題～	社会福祉法人旭川荘 障害者支援施設かえで寮

報告	瀧川　智子	一般の人からみた、介護・介護福祉士に対する印象について ～岡山県内８ヶ所におけるアンケート調査結果より～	一般社団法人岡山県介護福祉士会 調査研究委員会

突然インタビュー

インタビュー者：岡山県介護福祉士会　副会長・新見地区　地区部長
磯田　明枝さん（認知症高齢者グループホームわが家）
（勤務先のグループホームわが家にてお話を伺いました。）

Q：介護福祉士になったきっかけは…

A：子どもの頃、宮城まり子さんの著書に大変な感銘を受け、福祉の世界を目指すようになりました。保育士資格取得のため進学し、卒業後は地元に新しくできた特別養護老人ホームに就職しました。異動で法人内の障害者施設などで仕事をする機会もあり、仕事の楽しさを実感する中で、自然と介護福祉士の資格取得も目指すようになりました。また、地域で介護の仕事に取り組む姿を、母親として自身の子ども達に見せていきたいという思いもありました。

Q：介護福祉士として、仕事のやりがいを感じるのはどんなことですか？

A：グループホームに異動になり６年目ですが、「地域に出よう」という目標のもと、利用者の方々と外出したり地域と交流を持つなど、介護福祉士として自由な環境で仕事をさせてもらっている現状に感謝しています。元々イベント好きで、いろいろなイベントを企画して、利用者さんに楽しんでいただくことにもやりがいを感じています。

Q：介護福祉士会に入ってみて思い出に残っていること

A：入会したばかりの頃、雲の上の存在だと思っていた執行部の方達と、今一緒に活動できていることが夢のようです。地域を越えて多くの会員さんと学び合う機会も得られ、この出会いこそが私の財産だと日々感じています。

Q：副会長・地区部長をされてみての感想

A：県内でも新見地区はまだまだ会員数が少ないのが残念ですね。私自身そうなのですが、地域柄、仕事と家業の農業などを両立させている方も多く、忙しさから入会をためらっている介護福祉士さんの声も聞きます。時間のやり繰りは大変ですが、多くの方に会員になっていただき一緒に研鑽していきたいです。

Q：副会長・地区部長として、今後してみたいことや期待すること

A：現在「認知症カフェ」に参加したり、地区に「晴れる家隊」の皆さんを呼んで、介護福祉士や介護福祉士会についてよりよく知ってもらう活動に取り組んでいるところです。
特に未来ある若い世代に介護の仕事の楽しさ、自分の特技や好きなことが強みになる素晴らしい仕事だということをしっかりと伝えていきたいですね。
会員の皆さんには、研修に参加し資質を高めるのはもちろん、役員の活動にも関心を持ってもらいたいです。外に出て、同じ思いを持つ仲間と活動することで、職場や仕事の楽しさ大切さをあらためて実感できた私の経験を皆さんにもぜひ味わって欲しいです。

Q：休日の過ごし方、趣味などについてお聞かせください

A：休日は家族と過ごすことが一番のリフレッシュになっています。３人の子ども達も成長し、それぞれの予定も忙しいのですが、スケジュールが合う子がいれば一緒に出掛けたりして楽しんでいます。漫画やアニメも好きですが、決して“腐女子”というわけではないですよ（笑）。また地元のコーラス部の活動にも参加しています。特技のピアノも時間が許せばもっともっと楽しみたいですね。

《インタビュー後記》

仕事に主婦業・農業さらに副会長・地区部長としての活動まで！元気な笑顔からはとても想像できないパワーと、全ての役割を心から楽しまれているひたむきさに、こちらまで元気をいただきました。仕事愛・家族愛・地域愛など…お話の端々に愛が溢れていて、その愛とパワーでこれからも介護福祉士会を導いていただきたいと思いました。

（岡山地区：広報・山縣）

地区のおすすめスポット紹介

高梁自然公園

休日には車を少し走らせてよく行く場所は、高梁自然公園です。
この施設は新城池を中心として山に囲まれた環境にあり、大きな池にたくさんの鯉が泳いでいます。八丈岩、三枚岩などと呼ばれる多くの大岩が自然に調和しており、ハイキングコースや、キャンプ場、遊具などもあります。
尺八を持って行き、自然を感じながら９月の発表会に向けて楽譜とにらめっこするのが癒しになっています。
高梁にいらしたらぜひ高梁自然公園に行って自然を感じてみてください。　（PN：虚無僧）

美作地区よりお知らせ

興味のある方はぜひ！

「美作大学短期大学部介護福祉専攻科学生による
のんびり、ゆったりリラクゼーション体験会
&
岡山県介護福祉士会美作地区介護士による
介護器具の手作り改造レシピ体験会」

ダブルコラボ体験会

無料で体験していただけます！

平成29年10月29日（日）10時～12時
アルネ津山４階図書館前ホール（津山市新魚町17）

みんなの広場
ほっとステーション

１日子ども社長

今年も夏休みを利用して小学校の子どもたちが１日社長となり、朝礼でスタッフに挨拶やデイサービスの利用者様のお出迎え、介護体験を楽しんで実施してもらいました。子どもや利用者様だけでなくスタッフも暑い夏を乗り越える楽しい時間を過ごさせてもらいました。今年は200名参加、来年はもっと参加者を募集していきます！

（倉敷地区：田中　真允（株式会社創心會））

職員親睦会に行って来ました

ホテルでのランチの後吉本新喜劇。日頃の慌ただしい中での食事とはうって変わってゆったりと優雅なランチタイム。でも、日頃の習慣なのでしょう、ゆっくりと食べられないのが悲しい。美味しいものを満喫し吉本でいっぱい笑ってリフレッシュ出来ました。日頃はあまり話す機会がない介護以外の職種の方達とも話をする機会が出来、親しさが増したように思いました。顔と顔を合わせて仕事以外の話題で盛り上がれる、そんな時をこれからも大切にしたいと思った日帰り旅行でした。

（PN：笑いがいちばん！）

心温まる出会い

先日、家族で久々の外食へ行ってきました。この忙しい日々を乗り切ろうと焼肉へ…以前某局の地域紹介番組にて取り上げられたお店で、日曜の夕方ということもあり沢山のお客さんで賑わっていました。当然、お客さんの数に店員が対応できない部分もありましたが、そのお店のご主人が少し落ち着いた頃に厨房から出てこられ各テーブルに挨拶とお詫びにまわられたのと、久々の焼肉に満足しました。さあ会計を済まそうとレジに行くと、どこかで見たような女性が。皆さんプライベートで買い物などに出掛けて、見覚えはあるが誰だったかなという経験はありませんか？まさにこの時もそうだったのですが、今回は記憶が蘇り、声を掛けお話をすることができました。その方は今から７～８年前、娘の通っていたスイミングスクールのコーチでした。しかも以前別の市で通っていて、引っ越して近場のお店でこうして再会することがあるんだ、偶然ってあるんだと、帰り道心があったかくなりました。最近皆さん心温まる出会い、再会はありましたか？

（PN：マグネット）

ほっとステーションへの投稿をお待ちしています

あなたの職場の様子や利用者さんとの
日々のやりとりを教えてください。
同じ“介護”で働く皆さんが共有できる、
そんな情報をお待ちしています。

編集担当
岡山県介護福祉士会
広報委員会
磯田　明枝　山縣　香織
柴田　育子　早見　潤一
田中美保子　中村　幸子
吉田　和明　頓宮　美樹
甲加　勇樹　樋口　美佳
森谷　謙作　神田　統夫
河島　友美　大森　幹人
小橋謙太郎　池田　和彦
田口百合子